

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ことば音楽療法教室みそら		
○保護者評価実施期間	6年 12月 1日		～ 6年 12月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 10
○従業者評価実施期間	6年 12月 1日		～ 6年 12月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○訪問先施設評価実施期間	6年 12月 1日		～ 6年 12月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 11
○事業者向け自己評価表作成日	7年 1月 4日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門的な支援の方法を伝えることができる。	pecsの使い方を園や学校でも取り入れてもらえるようにしている。 応用行動分析（ABA）を学んでいる支援員が訪問することによって、問題行動を分析し、その対応を伝えるようにしている。	訪問支援員自身がレベルアップできるように学びを続けるようにしている。
2	児童発達支援・放課後等デイサービスを併設しており、個別療育で使う教材が豊富なため、それを学校に提供することができる。	ホームクラスの授業では、みんなと同じだけの理解は難しいが、その時間をクラスの友達と過ごせるように独自の教材を学校に渡したり、その使い方を伝えるようにしている。	教材開発を行うようにする。
3	デイサービスの療育時間を使って、保護者と話せる時間が多いため、学校への要望やそれに対する対処の仕方などを詳しく聞くことができる。	保護者の願いを園や学校に伝えることで、支援の方向性を統一させるようにしている。	支援員自身が、心理学・保育・教育・福祉分野について学びを深めるようにする。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者からは訪問の依頼があるが、訪問先から断られることがある。	保育所等訪問支援事業というものをもっと理解してもらえるように、学校等へ発信するようにしている。	担当者会議等で教員と会える場合は、保育所等訪問事業について丁寧に伝えるようにする。
2			
3			